

Weekly
Report

東京お茶の水ロータリークラブ

2025-26年度RI会長
フランチェスコ・アレツォよいことの
ために
手を取りあおう

第2580地区ガバナー 中川 雅雄

1. クラブをもっと元気にしよう
例会を楽しみましょう
 2. 地域社会に役立つ活動しよう
 3. デジタルをうまく役立てよう
- +ONE よい事はマネしよう

思いやりの心を大切に

2025-26年度 クラブ会長 山田 丈夫



本日の卓話

ラジオと生活

笠原 健太朗会員

司会進行

点鐘

我らの生業

ゲスト・ビジター紹介

ニコニコボックス報告

会長報告

幹事報告

出席報告

海江田健司会員

山田 丈夫会長

西村美智子会員

角田 靖会員

海江田健司会員

山田 丈夫会長

木村 良成幹事

海江田健司会員

- ・沖縄の宜野湾ロータリークラブ創立 60 周年記念式典および祝賀会のご案内をお配りしました。出席希望の方は事務局までお知らせください。締め切りは 11/21 になります。
- ・10/7 に中央分区ゴルフ予選会が行われ、私と木宮会員、土居会員で参加しました。団体戦は 6 名からのエントリーのため参加資格がなかったのですが、土居会員がシニアクラスでブービー賞を取りました。おめでとうございます。
- ・本日皆様に「クラブ戦略計画」をお配りしました。こちらは戦略委員会で 10 回にわたる協議を重ねて策定したものです。皆様からいただいた貴重なアンケートをもとに様々な意見交換を行いまとめ上げました。熟読していただき、炉辺会などを通じて、会員増強と退会防止に繋げていきたいと考えております。

ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー・東京八王子北 RC

木村 悦子様

米山奨学生

王 妍様

ニコニコボックス

木村悦子様

山田会長

木村様よりニコニコを頂戴しました。
木村幹事のお母さま、卓話よろしくお願
い致します。

土居会員

東京八王子北 木村悦子さん、お茶の水
RC への再会有難うございます。本日の卓
話も楽しみです。

加藤会員

本日の卓話よろしくお願ひ致します。
本日も楽しく参りましょう。

木宮会員

東京八王子北 RC パスト会長 木村悦子
様、卓話楽しみにしております。

松島会員

木村悦子様、ようこそいらっしゃいま
した。

西村会員

東京八王子北 RC パスト会長 木村悦子
様、本日は卓話を有難うございます。
楽しみにしております。

大原会員

木村様、卓話楽しみにしています。

高山会員

今月 24 日から神田古本まつりが始まり
ます。いつもご支援ありがとうございます。

角田会員

木村さんの卓話楽しみにしています。

和田会員

木村様、本日の卓話楽しみにしていま
す。

計 33,000 円 累計 352,650 円

会長報告 山田 丈夫会長

- ・米山記念奨学会より、神保会員に米山功労者（1 回目）の感謝状が届きました。
- ・RLI パート 1 の修了証が角田会員に届きました。
- ・米山奨学生王妍さんに、10 月分の奨学金をお渡しします。

クラブ戦略計画について 木宮 雅徳会員

クラブ戦略計画について 1 点補足させていただきます。お手元の冊子の 7 ページ以降に、ビジョンを実現するための具体的な行動計画が記載されています。その一番右の欄に「担当委員会」という項目がありますので、ぜひご確認ください。

このクラブ戦略計画は、会員の皆様全員の参加があって初めて成り立つものです。計画の実現には、担当委員会の委員長だけでなく、全ての会員のご協力が不可欠です。皆様一人ひとりが複数の委員会に所属していることを認識していただき、「自分は関係ない」と思わずに、積極的にご参加いただきたいと思います。

来年度の木宮年度には地区大会も控えており、各委員会が協力し合う体制がなければ成功は望めません。このクラブ戦略計画は、山田会長、私、そして次期会長の 3 年間の計画として実現していくものです。皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 木村 良成幹事

- ・10 月度理事役員会議事録を配布しました。



- ・米山奨学会 2024 年度事業報告書と決算報告書が届いております。ご覧になりたい方は事務局にお声がけください。
- ・次週 10/22 はブックハウスカフェでの例会です。お間違えのないようにお願いします。
- ・親子はねやすめ基金へのご協力ありがとうございました。

ロータリーの友 10 月号の紹介 土居 岩生会員

本誌は横書きと縦書きの 2 部構成になっています。横書きの部分は RI のプログラムなどに関する記事が中心で全体の約 7 割を占めています。一方、縦書きは残りの 3 割ほどです。この構成からも、RI が主導する活動が大きな比重を占めていることが分かります。一つ注意していただきたいのは、本誌を読み進める中で「ロータリーは人道奉仕団体である」という印象だけが強く残ってしまうことです。もちろん奉仕活動は重要ですが、ロータリーの本質はそれだけではありません。

RI 会長メッセージ (2 ページ) 1 ヶ月前に急遽就任された新会長によるもので、ロータリーの中核的価値観の一つである「リーダーシップ」について述べられています。奉仕活動以外のテーマが取り上げられるのは珍しく、注目すべき記事です。

国際大会のご案内 (22 ページ) 来年 6 月に台北で国際大会が開催されます。日本から近い台北での開催は貴重な機会です。これ以降はドバイやアメリカなど遠方での開催となりますので、この機会に参加をご検討ください。

縦書きのページでは、鎌倉 RC の久保田氏による連載「にっぽんふうど」が 1 年前から続いており、今月号は「五十三次つまみ食い」と題して昔の興味深い話が綴られています。また 50 ページには「ロータリーあるある相談室」というコーナーがあり、ロータリー活動でよくある疑問や悩みに対してパストガバナーが回答しています。これらの記事は非常に興味深い内容となっておりますので、ぜひご一読ください。

出席報告

会 員 数	34 名	ゲ ス ト	1 名
出 席	16 名	ビ ジ タ ー	1 名
Z O O M	1 名	合 計	19 名

今後の予定

- 10/29 (水) 夜間例会 (於) 味館トライアングル
- 11/ 5 (水) (於) 東京ドームホテル
TOPPAN デジタル(株) 事業推進センター
流通 DX 推進本部ペイメント事業推進部
課長 大森 孝一郎様
「第 13 回 神田カレーグランプリ決定戦」
での取り組みについて
- 11/12 (水) (於) 東京ドームホテル
Green Garden 行政書士事務所 行政書士
吉井 朋子様
- 11/19 (水) (於) ブックハウスカフェ
クラブフォーラム



家庭集会

東京八王子北 RC パスト会長 木村 悦子様

本日のテーマは「家庭集会について」です。皆様のクラブでも既に行われているかと存じますが、その歴史や意義について、改めてお話しさせていただきます。

ロータリーの起源と徽章に込められた意味

ロータリーの歴史は、今からちょうど 120 年前に遡ります。アメリカ・シカゴの弁護士ポール・ハリス氏が、3 人の友人と共に、一つの業種につき一人の会員を原則とする「相互扶助の親睦クラブ」を創立したのがその始まりです。

当時、彼らは特定の会館や会場を持たず、会員それぞれの事務所やホテルなどを点々と回りながら会合を開いていました。この「回り持ちで (rotate) 会う」というスタイルから、「ロータリー」という名前が付けられたと伝えられています。皆様が胸につけていらっしゃるロータリーの徽章 (バッジ) は、まさにこの「回り歩く」様子を象徴しており、車輪がモチーフになっています。この歯車のギザギザですが、実はこれは 24 個あります。これは我々のクラブの象徴ですので、ぜひ覚えておいていただきたい豆知識です。歯車と 6 本のスポーク、そして円滑に回転するための軸穴で構成されており、活発に活動するクラブの姿を表現しています。

家庭集会 (炉辺会) の重要性

ロータリー創立の原点は、何よりも「親睦」と「相互扶助」にありました。心を開いて語り合える仲間が集うことが、その第一の目的だったのです。しかし、週に一度、1 時間程度の定例会だけでは、どうしても表面的な付き合いになりがちです。会の運営方針や卓話、行事の報告といった公式な議題が中心となり、会員一人ひとりの人柄や趣味、悩みなどを深く知る機会は限られてしまいます。そこで例会とは別に、より親密なコミュニケーションを図る場として生まれたのが「炉辺会」すなわち現在の「家庭集会」です。「炉辺会」という名称は、かつて暖炉 (炉) の辺りに集まって語り合ったことに由来します。人間というものは、不思議と少人数で集まると心が軽くなり、口も軽くなるものです。そこに美味しいお酒や食事があれば、なおさら話が弾みます。家庭集会はそうしたリラックスした雰囲気の中で、個人の趣味や関心事について気兼ねなく語り合うことを目的としています。

このような非公式な集いを通じて、これまで知らなかった会員の一面を発見し、互いの人柄や価値観を深く理解することができます。そうして育まれた親睦は、クラブ全体の絆を強め、ひいては例会そのものにも活気をもたらすのです。

もちろん、ロータリーは単なる「仲良しクラブ」ではありません。あくまでも、会員一人ひとりが人格を高め、社会に奉仕することが最終的な目標です。しかしその土台となるのは、会員同士の強固な信頼関係であり、家庭集会はそのための極めて有効な手段であると私は考えております。

家庭集会の進め方とミニ体験

家庭集会の運営方法は、各クラブが自由に決めることができます。人数は 5~6 人程度の小グループが話しやすく、時間や曜日も問いません。お昼でも夜でも、会員の都合の良い時に開催すればよいのです。そして家庭集会への出席は、例会出席と同様に扱われます。議題も、クラブが抱える課題について真剣に議論するのも良いですし、純粋に趣味について語り合うだけでも構いません。例えば、私たちのクラブでは、最初に 30 分から 1 時間ほど議題について話し合った後、すぐにお酒を酌み交わしながら懇親の時間に移ることが多いです。お酒が入ると、かえって活発な意見交換ができることもあります。

本日は、この家庭集会の雰囲気を少しでも体験していただくため、皆様にもミニ家庭集会を行っていただきたいと思えます。今座っていらっしゃる円卓を一つのグループとし、それぞれリーダーを一人決めてください。そして「ご自身の趣味」をテーマに、自由に語り合ってみてください。10 分後に、各グループのリーダーの方から、どのようなお話が出たか、簡単にご報告いただければと思います。

(各テーブルでのディスカッション)

それでは各グループからのご報告をお願いいたします。

角田会員：私も以前親睦委員長をしていましたが、こちらのグループは親睦でまとまっています。夜の街へ行って女性と喋って親睦を深めています。

日根野会員：こちらのグループでは、神保会員がピアノを修行中で、木宮会員はドラムを嗜んでいて、バンドを作りたいところですが、私は残念ながら楽譜が読めないの、喉 (歌) で参加したいと思います。

西村会員：加藤会員がすごい魚を釣ってきて皆にご馳走してくださるそうです。また松島会員、王さんは読書好き、高山会員は料理、本格的な趣味をお持ちです。私はオペラ鑑賞や絵画鑑賞、武道も始めました。

和田会員：牛島会員が、料理が得意で今朝も 5 時起きで奥様のお弁当を作られたということで、木村幹事はピアノを弾かれるそうです。それに合わせて土居会員にカラオケを歌っていただき、私と会長はお酒を飲んで楽しむ、という構成で盛り上がりました。

皆様、ありがとうございました。このように、ほんの短い時間でも、互いの趣味や意外な一面を知ることによって親近感が湧いたのではないのでしょうか。こうした家庭集会での交流から、同好会が生まれたりクラブの活性化に繋がる新しいアイデアが生まれたりすることも少なくありません。お茶の水 RC の皆様も、歴史と伝統ある素晴らしいクラブでいらっしゃいますが、ここにさらに家庭集会のような和やかな交流が加わることで、ますます発展されるのではないかと感じました。

本日は拙い卓話ではございましたが、皆様のクラブ運営の一助となれば幸いです。ご清聴いただき、誠にありがとうございました。